

令和8年3月3日～4日

鳥羽市議会会議

一般質問通告者一覧表

3月3日（火）

- ① 南川則之 議員……………P.1
- ② 戸上 健 議員……………P.2～3
- ③ 木下順一 議員……………P.4
- ④ 五十嵐ちひろ 議員……………P.5～6

3月4日（水）

- ① 濱口正久 議員……………P.7～8
- ② 世古安秀 議員……………P.9～10
- ③ 坂倉広子 議員……………P.11
- ④ 世古雅人 議員……………P.12

発言通告者	議席番号	6 番	氏 名	南 川 則 之
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 南海トラフ地震対策の強化に向けた取組みについて</p> <p>東日本大震災から15年、また、2024年1月1日に能登半島地震が発生してから2年が経過しました。度重なる甚大な被害をもたらした大規模地震により、復興に向けた取組みが進められているが、多くの人々が今なお避難生活を余儀なくされている。</p> <p>鳥羽市においても、こうした過去の災害復興の取組みと教訓を踏まえ、事前の地震・津波対策に万全を期すことができれば、今後発生が危惧される南海トラフ地震における被害の低減、死者数を限りなくゼロに近づけることができると考える。</p> <p>そこで市の考えと対策について以下の点を問う。</p> <p>① 理論上最大クラスの地震予測と被害想定について ② 津波避難場所の設置及び避難路整備について ③ 「My まっぷラン」等を活用した津波避難計画の策定について ④ 坂手町におけるライフラインにかかる防災対策（上水道供給機能の確保対策）の推進について ⑤ 避難困難地域及び特定避難困難地域の抽出と対策について ⑥ 県内における津波避難タワー等の整備状況と市長の整備約束について</p> <p><市長、副市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	9 番	氏 名	戸 上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 排外主義に対する市長の基本姿勢について</p> <p>「移民はもういらん」など排外主義が叫ばれ、鳥羽市政にも影響を及ぼしている。そこで以下の諸点について問う。</p> <p>① 外国籍職員採用問題についての市長見解</p> <p>② 対中関係の悪化による鳥羽市への影響について</p> <p>(1) レアアースなど地域産業への影響</p> <p>(2) インバウンドの中国人観光客誘客の状況</p> <p>③ 「外国人が増えたら犯罪が増える」。鳥羽市でそんな事実があるか</p> <p>④ 鳥羽市内で外国人人材はどんな役割を果たしているか</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	9 番	氏 名	戸 上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 市民の暮らしを応援する3つの提案</p> <p>物価高が続く一方実質賃金は減少し、市民の暮らしは劣化している。地方自治体が住民を応援し暮らしに希望を持ってもらう施策が待望されている。そこで3つの「暮らし応援」事業を提案する。</p> <p>① 18歳までの医療費と窓口での無料化 ② 国保税子ども均等割の廃止・軽減 ③ 学童保育の保育料無料化</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	10番	氏名	木下 順一
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 市長公約「鳥羽 未来への約束」④「災害から鳥羽を守る」南海トラフ地震を前提とした事前防災及び事前復興計画について</p> <p>南海トラフ巨大地震による人的被害の最小化を最優先課題と位置付け、揺れ・家屋の倒壊及び火災を想定した事前防災の実効性並びに事前復興計画の具体化について問う。</p> <p>(1) 被害想定に対する受け止めと対策 鳥羽市地域防災計画（地震・津波編）における、死者最大約 900 人、全壊・焼失建物約 6,200 棟との想定について、</p> <p>① 市長の受け止めは ② 人的被害最小化に向け重点的に講じる対策は</p> <p>(2) 木造住宅耐震化の推進</p> <p>① 昭和 56 年以前の木造住宅棟数はどれだけか ② 現行の耐震診断・改修補助制度の利用状況をどのように評価しているか ③ 現行制度の課題認識について ④ 戸別訪問による制度説明や、補助金の範囲内で実施可能な低コスト工法の提示など、踏み込んだ支援策の導入についての考えは。 ⑤ 耐震化を事前防災の柱と位置付ける考えは</p> <p>(3) 通電火災対策</p> <p>① 通電火災の想定及び対応方針は ② 感震ブレーカーの普及状況及び啓発は ③ 高齢者世帯等への設置支援について</p> <p>(4) 事前復興計画の策定</p> <p>① 市長が想定する計画の内容及び範囲について ② 現在の検討状況について ③ 任期中に基本方針又は骨子を示す考えについて <市長、副市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	2 番	氏 名	五十嵐 ちひろ
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 改正民法施行に伴う「共同親権」導入への市の対応について</p> <p>令和8年4月から導入される「共同親権」は離婚後の子育てに大きな変化をもたらす制度である。本市の窓口や子どもに関わる現場においても、市民が混乱することなく、子どもの利益が最優先される支援体制が整えられていることが求められる。</p> <p>そこで以下の点について問う。</p> <p>① 施行に向けた準備と市民への周知について ② 行政サービス・学校や保育所などの現場での対応について ③ ひとり親家庭への支援と関係課の連携について</p> <p><担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	2 番	氏 名	五十嵐 ちひろ
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 女性や子どもが安心できる避難生活の実現に向けて</p> <p>災害時、避難所では女性や子どもが特有の困難に直面しやすい。また、過去の震災では性暴力等の被害も報告されている。誰もが安心して過ごせる避難生活には充実した物品や市民意識の向上が必要である。</p> <p>そこで以下の点について問う。</p> <p>① 備蓄品の現状と、市民への情報提供について ② 避難所での性暴力防止について ③ 避難所運営における女性の視点の反映について ④ 女性消防団員の活躍と今後の展望について</p> <p><担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	7 番	氏 名	濱 口 正 久
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 鳥羽市における教育の可能性と切れ目のない支援体制について</p> <p>人口減少、少子高齢化が進む中で、鳥羽市として教育をどのような柱として位置付ける考えなのか、また第三次鳥羽市教育ビジョンにおける教育の役割と、鳥羽らしさを生かした教育の展開や取り組むべき課題、施策について教育に対する将来への負担を軽減し、不安を取り除き、子ども達が等しく希望がもてる未来への教育を実施することが重要であると考えます。</p> <p>さらに子育て、教育を政策の「ど真ん中」に置くことで、子育て世帯だけでなく、若者世帯の人口流出を防ぐ人口減対策に繋がると考えます。</p> <p>そこで、以下の諸点について問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子育て支援の現状について <ol style="list-style-type: none"> ① 妊娠期から切れ目ない支援はされているか ② 保育の現状はどうか 2. 子育て世帯の課題について <ol style="list-style-type: none"> ① 子育て世帯の悩みは把握されているか ② 課題解決のための検討はされているか 3. 鳥羽市における教育の位置付けについて <ol style="list-style-type: none"> ① 市長の考える鳥羽市の教育の位置付けは ② 教育ビジョンの理念は人口減少に対応して設計されているか 4. 教育の魅力化について <ol style="list-style-type: none"> ① 鳥羽市における教育の魅力化とは何か ② 鳥羽ならではの教育とは 			

発言通告者	議席番号	7 番	氏 名	濱 口 正 久
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>5. 小規模特認校制度について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① どのような制度か ② 縮小対象ではなく地域とともにある魅力拠点として再設計する考えは ③ 鳥羽市における複式教育の特徴は <p>6. 教育の格差是正について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 誰一人取り残さない教育とは ② スタディクーポン制度とは <p>7. 将来世代の教育支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 高校修学等に対する支援制度は ② 大学修学等に対する支援制度は <p>8. 市長の考える教育施策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 格差是正のための支援は ② 少子化に伴い教育を縮小していくのか、それとも未来への投資と位置付けるのか <p><市長、教育長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	1 3 番	氏 名	世 古 安 秀
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 選挙の投票率向上策について</p> <p>市民が政治に関心を持ち、積極的に政治に参加するためには選挙への投票行動が重要です。鳥羽市の投票率向上策について問う。</p> <p>① 直近の選挙の投票率と期日前投票の状況について ② 投票率向上の課題について ③ 若年者層の主権者教育について ④ 投票環境の整備について</p> <p><市長、教育長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	13番	氏名	世古安秀
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 子育て世帯の支援策について</p> <p>鳥羽市は少子高齢化が進むと共に、人口減少に歯止めがかからない状況に陥っています。今後は人口が減っても市民が幸せに暮らせるまちが持続できる(ウェルビーイング)子育て支援策が求められています。次の点について問う。</p> <p>① これまでの子育て支援策について ② 今後の新たな支援策について ③ 多子世帯への支援策について ④ 子育て世帯の家事負担の軽減支援策について</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	1 1 番	氏 名	坂 倉 広 子
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 本市の安心安全なまちづくり</p> <p>千葉県八街市（2021年6月）で下校中の小学生の列にトラックが突込み、5人が死傷するという痛ましい事故があった。</p> <p>警視庁が公開している小学生の交通人身事故発生状況によると、令和7年中の事故件数は1,028件となっている。</p> <p>また、高齢者ドライバーの安全対策の必要性についても社会的関心が高まっているが、運転免許を返納した場合、その後の交通手段の確保が喫緊の課題である。</p> <p>そこで以下の点について伺う。</p> <p>① 通学路等の安全対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路等の交通安全対策の状況について ・通学路合同点検の場所、点検報告について ・保育所・幼稚園等の未就学児が日常的に集団移動する経路の安全点検について ・通学路交通安全プログラムの内容について <p>② 高齢者の交通安全対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の実態把握について ・交通安全対策の啓発等の取り組みについて ・運転免許を自主返納した高齢者への支援について ・高齢者運転免許自主返納者等に対する二次交通対策について ・市内の交通事故危険個所を把握する仕組みづくりや危険個所を一覧化し優先順位を付けて対策を行う必要性について市長に伺う <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	3 番	氏 名	世 古 雅 人
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 市長が掲げた選挙公約への取り組み及び私のこれまでの一般質問における市の答弁に対するその後の対応や進捗状況について</p> <p>昨年6月会議で一般質問した選挙公約の「若者世帯の定住」と「災害から鳥羽を守る」について、取組内容やその後の対応も含め再度確認する。</p> <p>また、市民の声を基に以前一般質問した相差町池中地区の冠水対策、用途廃止した公有財産の有効活用について、執行部が答弁された内容がそれ以降どのように対応しているかなど、現在の進捗も併せて、市民に届ける必要がある。</p> <p>そこで、以下の点について問う。</p> <p>① 市長の選挙公約「若者世帯の定住」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「若者世帯の住宅取得に補助金」の事業内容や実施時期等の考えは。 <p>② 市長の選挙公約「災害から鳥羽を守る」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域防災力の向上」の内容と取り組みの考えは。 <p>③ 「相差町池中地区の冠水対策」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査による協議結果と今後の対策への考えは。 <p>④ 「用途廃止した公有財産の有効活用」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問後の対応内容と現状はどうか。 <p><市長、副市長及び担当課長></p>			